

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 富山県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	3
富山市	富山市民病院	4
富山市	富山まちなか病院	5
高岡市	高岡市民病院	6
氷見市	金沢医科大学 氷見市民病院	7
黒部市	黒部市民病院	8
砺波市	市立砺波総合病院	9
南砺市	南砺市民病院	10
南砺市	公立南砺中央病院	11
射水市	射水市民病院	12
上市町	かみいち総合病院	13
朝日町	あさひ総合病院	14

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名					
病院名 中央病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	66,174 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	33	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	665	74.3	84.6	85.9
療養	-	-	-	-
結核	16	16.6	12.1	7.0
精神	50	67.3	69.9	69.6
感染症	2	11.6	6.3	5.1
計	733	72.4	81.8	82.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	10.4	10.5

設立団体の状況		
人口(人)	1,034,814	
決算規模(千円)	594,056,688	
標準財政規模(千円)	300,783,196	
財政力指数	0.48457	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.3
	将来負担比率(%)	247.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	27,863,196			
1 経常収益	27,501,334			
(1) 医業収益	23,558,019			
入院収益	15,319,124			
外来収益	7,738,319			
診療収入計	23,057,443			
その他医業収益	500,576			
(うち他会計負担金)	193,633			
(2) 医業外収益	3,943,315			
(うち国・都道府県補助金)	2,074,708			
(うち他会計補助・負担金)	1,595,078			
(うち長期前受金戻入)	70,592			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	361,862			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	27,826,284			
2 経常費用	27,464,437			
(1) 医業費用	26,043,265			
職員給与費	11,676,161	49.6	62.1	55.8
材料費	8,985,988	38.1	25.3	29.8
(うち薬品費)	4,941,252	21.0	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,891,112	16.5	11.4	13.0
減価償却費	1,804,103	7.7	9.5	8.7
経費	3,424,262	14.5	22.7	19.7
(うち委託料)	1,912,868	8.1	12.6	12.6
研究研修費	73,855			
資産減耗費	78,896			
(2) 医業外費用	1,421,172			
(うち支払利息)	198,607	0.8	1.3	1.2
(3) 特別損失	361,847			
損益				
経常損益	36,897			
純損益	36,912			
累積欠損金	6,274,597			
経常収支比率	100.1		101.9	102.5
医業収支比率	90.5		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	6.5		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	7.6		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	6.4		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	93.6		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	44,481,926
1 固定資産	35,360,678
(1) 有形固定資産	33,969,744
(2) 無形固定資産	1,797
(3) 投資その他の資産	1,389,137
2 流動資産	9,121,248
(1) 現金及び預金	3,393,453
(2) 未収金及び未収収益	5,617,041
(3) 貸倒引当金()	2,524
(4) 貯蔵品	111,263
3 繰延資産	-
負債合計	33,844,675
1 固定負債	21,663,543
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,191,694
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,318,778
(7) リース債務	153,071
2 流動負債	6,714,514
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,331,324
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	711,754
(6) リース債務	63,493
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,549,751
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,466,618
(1) 長期前受金	8,185,436
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,718,818
資本合計	10,637,251
1 資本金	15,555,301
2 剰余金	-4,918,050
(1) 資本金剰余金	1,631,527
(2) 利益剰余金	-6,549,577
負債・資本合計	44,481,926
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.7
修正医業収益(千円)	23,364,386

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,788,989	1,788,711
資本勘定繰入	315,871	315,871
計	2,104,860	2,104,582

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名					
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,260 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	13	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	232	87.2	85.8	86.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	232	87.2	85.8	86.4
平均在院日数(一般病床のみ)		80.0	71.2	60.1

設立団体の状況		
人口(人)	1,034,814	
決算規模(千円)	594,056,688	
標準財政規模(千円)	300,783,196	
財政力指数	0.48457	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.3
	将来負担比率(%)	247.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,118,217			
1 経常収益	1,050,973			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,050,973			
(うち国・都道府県補助金)	75,120			
(うち他会計補助・負担金)	554,892			
(うち長期前受金戻入)	407,132			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	67,244			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,078,307			
2 経常費用	1,078,307			
(1) 医業費用	960,408			
職員給与費	-	-	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	395,812	-	9.5	10.2
経費	561,612	-	22.7	28.2
(うち委託料)	498,870	-	12.6	13.6
研究研修費	-	-		
資産減耗費	2,984	-		
(2) 医業外費用	117,899			
(うち支払利息)	25,397	-	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-27,334			
純損益	39,910			
累積欠損金	274,980			
経常収支比率	97.5		101.9	99.9
医業収支比率	-		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	52.8		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	49.6		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	46.0		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	44,481,926
1 固定資産	35,360,678
(1) 有形固定資産	33,969,744
(2) 無形固定資産	1,797
(3) 投資その他の資産	1,389,137
2 流動資産	9,121,248
(1) 現金及び預金	3,393,453
(2) 未収金及び未収収益	5,617,041
(3) 貸倒引当金()	2,524
(4) 貯蔵品	111,263
3 繰延資産	-
負債合計	33,844,675
1 固定負債	21,663,543
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,191,694
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,318,778
(7) リース債務	153,071
2 流動負債	6,714,514
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,331,324
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	711,754
(6) リース債務	63,493
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,549,751
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,466,618
(1) 長期前受金	8,185,436
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,718,818
資本合計	10,637,251
1 資本金	15,555,301
2 剰余金	-4,918,050
(1) 資本金剰余金	1,631,527
(2) 利益剰余金	-6,549,577
負債・資本合計	44,481,926
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	542,193	554,892
資本勘定繰入	140,093	280,187
計	682,286	835,079

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名		富山市			
病院名		富山市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	43,430 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	489	59.5	71.2	68.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	42.7	47.3	54.1
感染症	6	4.1	0.5	-
計	545	57.3	68.4	67.0
平均在院日数(一般病床のみ)		13.6	13.9	13.5

設立団体の状況		
人口(人)	413,938	
決算規模(千円)	216,061,385	
標準財政規模(千円)	101,964,607	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	124.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.4
修正医業収益(千円)	8,748,612

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,324,502			
1 経常収益	12,091,041			
(1) 医業収益	8,903,831			
入院収益	6,125,213			
外来収益	2,405,498			
診療収入計	8,530,711			
その他医業収益	373,120			
(うち他会計負担金)	155,219			
(2) 医業外収益	3,187,210			
(うち国・都道府県補助金)	2,246,269			
(うち他会計補助・負担金)	871,092			
(うち長期前受金戻入)	10,287			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	233,461			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,141,173			
2 経常費用	11,907,731			
(1) 医業費用	11,457,834			
職員給与費	6,771,597	76.1	62.1	55.8
材料費	2,003,931	22.5	25.3	29.8
(うち薬品費)	1,003,964	11.3	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	999,967	11.2	11.4	13.0
減価償却費	736,007	8.3	9.5	8.7
経費	1,916,323	21.5	22.7	19.7
(うち委託料)	1,261,506	14.2	12.6	12.6
研究研修費	21,366			
資産減耗費	8,610			
(2) 医業外費用	449,897			
(うち支払利息)	18,880	0.2	1.3	1.2
(3) 特別損失	233,442			
損益				
経常損益	183,310			
純損益	183,329			
累積欠損金	4,669,705			
経常収支比率	101.5		101.9	102.5
医業収支比率	77.7		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	8.5		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	11.5		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	8.3		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	92.9		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,622,663
1 固定資産	9,782,649
(1) 有形固定資産	9,750,793
(2) 無形固定資産	31,856
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	3,840,014
(1) 現金及び預金	1,340,934
(2) 未収金及び未収収益	2,465,109
(3) 貸倒引当金()	9,441
(4) 貯蔵品	43,412
3 繰延資産	-
負債合計	10,083,235
1 固定負債	6,873,778
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,670,648
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,203,130
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,026,311
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	737,338
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	500,345
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,744,665
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	183,146
(1) 長期前受金	590,981
(2) 長期前受金収益化累計額()	407,835
資本合計	3,539,428
1 資本金	8,715,828
2 剰余金	-5,176,400
(1) 資本剰余金	10,224
(2) 利益剰余金	-5,186,624
負債・資本合計	13,622,663
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	997,315	1,026,311
資本勘定繰入	108,237	108,237
計	1,105,552	1,134,548

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名		富山市			
病院名		富山まちなか病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	3,833 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	50	69.6	51.1	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	69.6	51.1	-
平均在院日数(一般病床のみ)		24.1	18.2	-

設立団体の状況		
人口(人)	413,938	
決算規模(千円)	216,061,385	
標準財政規模(千円)	101,964,607	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	124.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.8
修正医業収益(千円)	687,668

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	776,879			
1 経常収益	770,309			
(1) 医業収益	687,668			
入院収益	385,959			
外来収益	258,199			
診療収入計	644,158			
その他医業収益	43,510			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	82,641			
(うち国・都道府県補助金)	45,620			
(うち他会計補助・負担金)	36,008			
(うち長期前受金戻入)	293			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,570			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	969,655			
2 経常費用	963,087			
(1) 医業費用	931,438			
職員給与費	568,095	82.6	62.1	78.9
材料費	159,230	23.2	25.3	15.6
(うち薬品費)	117,106	17.0	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	42,124	6.1	11.4	6.0
減価償却費	5,273	0.8	9.5	11.7
経費	196,841	28.6	22.7	31.2
(うち委託料)	117,343	17.1	12.6	14.3
研究研修費	1,989			
資産減耗費	10			
(2) 医業外費用	31,649			
(うち支払利息)	13	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	6,568			
損益				
経常損益	-192,778			
純損益	-192,776			
累積欠損金	516,919			
経常収支比率	80.0		101.9	100.3
医業収支比率	73.8		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	4.7		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	5.2		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	4.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	76.2		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,622,663
1 固定資産	9,782,649
(1) 有形固定資産	9,750,793
(2) 無形固定資産	31,856
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	3,840,014
(1) 現金及び預金	1,340,934
(2) 未収金及び未収収益	2,465,109
(3) 貸倒引当金()	9,441
(4) 貯蔵品	43,412
3 繰延資産	-
負債合計	10,083,235
1 固定負債	6,873,778
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,670,648
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,203,130
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,026,311
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	737,338
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	500,345
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,744,665
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	183,146
(1) 長期前受金	590,981
(2) 長期前受金収益化累計額()	407,835
資本合計	3,539,428
1 資本金	8,715,828
2 剰余金	-5,176,400
(1) 資本金剰余金	10,224
(2) 利益剰余金	-5,186,624
負債・資本合計	13,622,663
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	35,701	36,008
資本勘定繰入	5,440	5,440
計	41,141	41,448

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	高岡市				
病院名	高岡市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透 未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	33,068 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	333	67.6	80.5	83.9
療養	-	-	-	-
結核	12	28.6	0.4	10.7
精神	50	59.0	55.9	65.7
感染症	6	4.9	0.4	-
計	401	64.4	73.8	78.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	13.1	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	166,393	
決算規模(千円)	86,525,534	
標準財政規模(千円)	39,177,272	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	85.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	145.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.1
修正医業収益(千円)	7,178,049

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,749,059			
1 経常収益	9,566,037			
(1) 医業収益	7,259,636			
入院収益	4,994,876			
外来収益	2,007,957			
診療収入計	7,002,833			
その他医業収益	256,803			
(うち他会計負担金)	81,587			
(2) 医業外収益	2,306,401			
(うち国・都道府県補助金)	1,445,390			
(うち他会計補助・負担金)	821,890			
(うち長期前受金戻入)	14,739			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	183,022			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,125,070			
2 経常費用	8,942,057			
(1) 医業費用	8,437,226			
職員給与費	4,355,343	60.0	62.1	59.8
材料費	1,630,095	22.5	25.3	27.7
(うち薬品費)	919,205	12.7	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	645,627	8.9	11.4	12.4
減価償却費	680,667	9.4	9.5	8.2
経費	1,664,060	22.9	22.7	19.2
(うち委託料)	857,451	11.8	12.6	10.2
研究研修費	11,739			
資産減耗費	95,322			
(2) 医業外費用	504,831			
(うち支払利息)	158,046	2.2	1.3	1.2
(3) 特別損失	183,013			
損益				
経常損益	623,980			
純損益	623,989			
累積欠損金	10,535,495			
経常収支比率	107.0		101.9	103.7
医業収支比率	86.0		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.4		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	12.4		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	9.3		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	96.9		89.3	93.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,454,558
1 固定資産	8,710,609
(1) 有形固定資産	8,706,226
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	4,383
2 流動資産	2,743,949
(1) 現金及び預金	1,411,043
(2) 未収金及び未収収益	1,308,315
(3) 貸倒引当金()	5,085
(4) 貯蔵品	29,484
3 繰延資産	-
負債合計	10,171,403
1 固定負債	7,228,880
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,228,880
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,400,299
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,035,030
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	300,680
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,035,089
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	542,224
(1) 長期前受金	1,058,396
(2) 長期前受金収益化累計額()	516,172
資本合計	1,283,155
1 資本金	11,818,650
2 剰余金	-10,535,495
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-10,535,495
負債・資本合計	11,454,558
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	896,408	903,477
資本勘定繰入	96,930	98,173
計	993,338	1,001,650

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	145.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	氷見市				
病院名	金沢医科大学 氷見市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	24,217 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	245	77.9	77.2	80.8
療養	-	-	-	-
結核	5	4.9	2.3	0.6
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	76.5	75.7	79.2
平均在院日数(一般病床のみ)		17.7	18.0	20.3

設立団体の状況		
人口(人)	43,950	
決算規模(千円)	29,067,134	
標準財政規模(千円)	12,363,184	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	88.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.3
	将来負担比率(%)	63.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	18.6
修正医業収益(千円)	220,884

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	924,549			
1 経常収益	924,549			
(1) 医業収益	282,352			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	282,352			
(うち他会計負担金)	61,468			
(2) 医業外収益	642,197			
(うち国・都道府県補助金)	1,781			
(うち他会計補助・負担金)	496,112			
(うち長期前受金戻入)	38,056			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,252,367			
2 経常費用	1,252,367			
(1) 医業費用	1,187,030			
職員給与費	26,923	9.5	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	433,470	153.5	9.5	10.2
経費	718,951	254.6	22.7	28.2
(うち委託料)	9,959	3.5	12.6	13.6
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	7,686	-	-	-
(2) 医業外費用	65,337	-	-	-
(うち支払利息)	63,849	22.6	1.3	1.6
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	-327,818			
純損益	-327,818			
累積欠損金	7,623,366			
経常収支比率	73.8		101.9	99.9
医業収支比率	23.8		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	60.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	197.5		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	60.3		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	29.3		89.3	86.6

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,959,859
1 固定資産	4,547,265
(1) 有形固定資産	4,456,990
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	90,275
2 流動資産	412,594
(1) 現金及び預金	27,896
(2) 未収金及び未収収益	384,698
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,375,397
1 固定負債	4,103,711
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,103,711
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	826,180
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	422,473
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	403,331
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	445,506
(1) 長期前受金	572,823
(2) 長期前受金収益化累計額()	127,317
資本合計	-415,538
1 資本金	7,070,914
2 剰余金	-7,486,452
(1) 資本剰余金	136,914
(2) 利益剰余金	-7,623,366
負債・資本合計	4,959,859
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	415,538
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	471,095	557,580
資本勘定繰入	218,473	253,588
計	689,568	811,168

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	43,484	60.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2700.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	黒部市				
病院名	黒部市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透 未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	48,784 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	405	67.6	80.4	78.3
療養	-	-	-	-
結核	5	23.5	10.9	6.3
精神	-	-	-	-
感染症	4	1.0	0.4	-
計	414	66.4	78.8	76.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	12.2	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	39,638	
決算規模(千円)	25,962,869	
標準財政規模(千円)	12,995,037	
財政力指数	0.67	
経常収支比率(%)	87.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	104.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,576,455			
1 経常収益	12,385,281			
(1) 医業収益	9,858,464			
入院収益	5,507,233			
外来収益	3,655,598			
診療収入計	9,162,831			
その他医業収益	695,633			
(うち他会計負担金)	205,000			
(2) 医業外収益	2,526,817			
(うち国・都道府県補助金)	1,623,930			
(うち他会計補助・負担金)	450,732			
(うち長期前受金戻入)	54,024			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	191,174			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,679,578			
2 経常費用	11,488,404			
(1) 医業費用	10,383,113			
職員給与費	5,120,890	51.9	62.1	59.8
材料費	2,722,224	27.6	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,677,361	17.0	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	971,851	9.9	11.4	12.4
減価償却費	967,951	9.8	9.5	8.2
経費	1,467,000	14.9	22.7	19.2
(うち委託料)	811,799	8.2	12.6	10.2
研究研修費	19,750			
資産減耗費	85,298			
(2) 医業外費用	1,105,291			
(うち支払利息)	134,623	1.4	1.3	1.2
(3) 特別損失	191,174			
損益				
経常損益	896,877			
純損益	896,877			
累積欠損金	936,325			
経常収支比率	107.8		101.9	103.7
医業収支比率	94.9		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	5.3		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	6.7		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	5.2		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	102.1		89.3	93.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	19,430,000
1 固定資産	13,864,611
(1) 有形固定資産	13,534,359
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	330,252
2 流動資産	5,565,389
(1) 現金及び預金	2,978,702
(2) 未収金及び未収収益	2,518,029
(3) 貸倒引当金()	2,626
(4) 貯蔵品	71,035
3 繰延資産	-
負債合計	12,890,450
1 固定負債	9,148,829
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,148,829
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,954,649
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	593,520
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	326,489
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,996,299
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	786,972
(1) 長期前受金	1,337,296
(2) 長期前受金収益化累計額()	550,324
資本合計	6,539,550
1 資本金	6,982,931
2 剰余金	-443,381
(1) 資本金剰余金	492,944
(2) 利益剰余金	-936,325
負債・資本合計	19,430,000
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.0
修正医業収益(千円)	9,653,464

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	969,702	655,732
資本勘定繰入	340,732	30,000
計	1,310,434	685,732

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	砺波市				
病院名	市立砺波総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	47,660 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	418	71.6	71.4	76.5
療養	-	-	-	-
結核	5	8.0	21.1	15.6
精神	44	52.7	58.4	59.1
感染症	4	32.9	52.0	64.7
計	471	68.8	69.7	74.3
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	14.8	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	48,154	
決算規模(千円)	27,566,808	
標準財政規模(千円)	13,798,746	
財政力指数	0.59	
経常収支比率(%)	89.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	45.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,161,306			
1 経常収益	11,961,707			
(1) 医業収益	9,736,571			
入院収益	6,148,231			
外来収益	3,069,204			
診療収入計	9,217,435			
その他医業収益	519,136			
(うち他会計負担金)	294,249			
(2) 医業外収益	2,225,136			
(うち国・都道府県補助金)	1,183,702			
(うち他会計補助・負担金)	787,751			
(うち長期前受金戻入)	66,502			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	199,599			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,703,507			
2 経常費用	11,503,918			
(1) 医業費用	10,853,528			
職員給与費	5,887,094	60.5	62.1	59.8
材料費	2,343,331	24.1	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,267,915	13.0	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,006,937	10.3	11.4	12.4
減価償却費	1,121,523	11.5	9.5	8.2
経費	1,464,092	15.0	22.7	19.2
(うち委託料)	786,450	8.1	12.6	10.2
研究研修費	18,576			
資産減耗費	18,912			
(2) 医業外費用	650,390			
(うち支払利息)	116,301	1.2	1.3	1.2
(3) 特別損失	199,589			
損益				
経常損益	457,789			
純損益	457,799			
累積欠損金	3,018,893			
経常収支比率	104.0		101.9	103.7
医業収支比率	89.7		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	8.9		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	94.6		89.3	93.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,234,875
1 固定資産	10,408,872
(1) 有形固定資産	10,132,758
(2) 無形固定資産	3,594
(3) 投資その他の資産	272,520
2 流動資産	3,826,003
(1) 現金及び預金	1,636,863
(2) 未収金及び未収収益	2,110,371
(3) 貸倒引当金()	5,000
(4) 貯蔵品	83,769
3 繰延資産	-
負債合計	10,615,030
1 固定負債	7,117,425
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,117,425
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,445,804
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,076,988
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	389,456
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	934,228
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,051,801
(1) 長期前受金	2,177,777
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,125,976
資本合計	3,619,845
1 資本金	6,297,719
2 剰余金	-2,677,874
(1) 資本金剰余金	341,019
(2) 利益剰余金	-3,018,893
負債・資本合計	14,234,875
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.0
修正医業収益(千円)	9,442,322

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,545,382	1,082,000
資本勘定繰入	636,834	18,000
計	2,182,216	1,100,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	南砺市				
病院名	南砺市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	16,674 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	175	79.3	86.3	86.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	175	79.3	86.3	86.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	15.1	15.1

設立団体の状況		
人口(人)	47,937	
決算規模(千円)	40,218,180	
標準財政規模(千円)	21,742,567	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.6
修正医業収益(千円)	3,000,248

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,677,053			
1 経常収益	3,603,899			
(1) 医業収益	3,039,936			
入院収益	1,963,713			
外来収益	913,235			
診療収入計	2,876,948			
その他医業収益	162,988			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	563,963			
(うち国・都道府県補助金)	133,671			
(うち他会計補助・負担金)	394,571			
(うち長期前受金戻入)	20,701			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	73,154			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,725,011			
2 経常費用	3,648,782			
(1) 医業費用	3,504,211			
職員給与費	2,147,935	70.7	62.1	67.4
材料費	400,946	13.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	180,731	5.9	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	181,374	6.0	11.4	8.8
減価償却費	256,698	8.4	9.5	10.7
経費	676,899	22.3	22.7	29.2
(うち委託料)	331,178	10.9	12.6	13.9
研究研修費	14,397			
資産減耗費	7,336			
(2) 医業外費用	144,571			
(うち支払利息)	39,507	1.3	1.3	1.5
(3) 特別損失	76,229			
損益				
経常損益	-44,883			
純損益	-47,958			
累積欠損金	1,617,553			
経常収支比率	98.8		101.9	100.3
医業収支比率	86.8		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	12.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	14.3		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	11.8		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	86.9		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,770,546
1 固定資産	8,486,563
(1) 有形固定資産	8,414,286
(2) 無形固定資産	26,117
(3) 投資その他の資産	46,160
2 流動資産	3,283,983
(1) 現金及び預金	2,275,245
(2) 未収金及び未収収益	1,004,732
(3) 貸倒引当金()	9,348
(4) 貯蔵品	13,354
3 繰延資産	-
負債合計	7,812,278
1 固定負債	5,585,080
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,171,545
(2) その他の企業債	9,535
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	404,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,409,832
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	695,974
(2) その他の企業債	2,713
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	66,000
(5) 引当金	235,328
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	386,110
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	817,366
(1) 長期前受金	1,345,676
(2) 長期前受金収益化累計額()	528,310
資本合計	3,958,268
1 資本金	9,244,583
2 剰余金	-5,286,315
(1) 資本金剰余金	13,107
(2) 利益剰余金	-5,299,422
負債・資本合計	11,770,546
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	386,718	434,259
資本勘定繰入	181,894	191,867
計	568,612	626,126

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	104.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	南砺市				
病院名	公立南砺中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	13,959 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	104	81.6	84.6	83.6
療養	45	79.9	83.0	81.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	149	81.1	84.2	83.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.3	13.4	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	47,937	
決算規模(千円)	40,218,180	
標準財政規模(千円)	21,742,567	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.1
修正医業収益(千円)	2,015,231

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,636,529			
1 経常収益	2,586,712			
(1) 医業収益	2,051,525			
入院収益	1,366,878			
外来収益	571,813			
診療収入計	1,938,691			
その他医業収益	112,834			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	535,187			
(うち国・都道府県補助金)	90,272			
(うち他会計補助・負担金)	405,961			
(うち長期前受金戻入)	21,678			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	49,817			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,533,153			
2 経常費用	2,482,013			
(1) 医業費用	2,314,838			
職員給与費	1,275,356	62.2	62.1	67.4
材料費	290,606	14.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	111,400	5.4	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	142,412	6.9	11.4	8.8
減価償却費	159,066	7.8	9.5	10.7
経費	578,248	28.2	22.7	29.2
(うち委託料)	290,238	14.1	12.6	13.9
研究研修費	2,944			
資産減耗費	8,618			
(2) 医業外費用	167,175			
(うち支払利息)	56,307	2.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	51,140			
損益				
経常損益	104,699			
純損益	103,376			
累積欠損金	3,681,869			
経常収支比率	104.2		101.9	100.3
医業収支比率	88.6		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	17.1		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	21.6		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	16.8		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	86.4		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,770,546
1 固定資産	8,486,563
(1) 有形固定資産	8,414,286
(2) 無形固定資産	26,117
(3) 投資その他の資産	46,160
2 流動資産	3,283,983
(1) 現金及び預金	2,275,245
(2) 未収金及び未収収益	1,004,732
(3) 貸倒引当金()	9,348
(4) 貯蔵品	13,354
3 繰延資産	-
負債合計	7,812,278
1 固定負債	5,585,080
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,171,545
(2) その他の企業債	9,535
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	404,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,409,832
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	695,974
(2) その他の企業債	2,713
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	66,000
(5) 引当金	235,328
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	386,110
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	817,366
(1) 長期前受金	1,345,676
(2) 長期前受金収益化累計額()	528,310
資本合計	3,958,268
1 資本金	9,244,583
2 剰余金	-5,286,315
(1) 資本金剰余金	13,107
(2) 利益剰余金	-5,299,422
負債・資本合計	11,770,546
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	423,415	442,255
資本勘定繰入	203,514	203,514
計	626,929	645,769

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	104.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	射水市				
病院名	射水市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,467 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	195	66.4	69.2	68.3
療養	-	-	-	-
結核	4	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	65.1	67.8	66.9
平均在院日数(一般病床のみ)		23.4	22.9	21.4

設立団体の状況		
人口(人)	90,742	
決算規模(千円)	56,156,061	
標準財政規模(千円)	25,312,300	
財政力指数	0.66	
経常収支比率(%)	84.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	88.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.6
修正医業収益(千円)	2,897,196

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,578,070			
1 経常収益	3,496,302			
(1) 医業収益	2,972,471			
入院収益	1,946,526			
外来収益	832,135			
診療収入計	2,778,661			
その他医業収益	193,810			
(うち他会計負担金)	75,275			
(2) 医業外収益	523,831			
(うち国・都道府県補助金)	141,204			
(うち他会計補助・負担金)	343,450			
(うち長期前受金戻入)	25,831			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	81,768			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,865,793			
2 経常費用	3,783,995			
(1) 医業費用	3,592,881			
職員給与費	1,878,208	63.2	62.1	67.4
材料費	413,599	13.9	25.3	17.7
(うち薬品費)	175,741	5.9	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	198,438	6.7	11.4	8.8
減価償却費	411,195	13.8	9.5	10.7
経費	879,183	29.6	22.7	29.2
(うち委託料)	405,512	13.6	12.6	13.9
研究研修費	6,793			
資産減耗費	3,903			
(2) 医業外費用	191,114			
(うち支払利息)	64,187	2.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	81,798			
損益				
経常損益	-287,693			
純損益	-287,723			
累積欠損金	5,324,932			
経常収支比率	92.4		101.9	100.3
医業収支比率	82.7		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	12.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	14.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	11.7		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	81.3		89.3	84.8

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,115,207
1 固定資産	5,551,905
(1) 有形固定資産	5,388,813
(2) 無形固定資産	117,521
(3) 投資その他の資産	45,571
2 流動資産	563,302
(1) 現金及び預金	25,155
(2) 未収金及び未収収益	521,525
(3) 貸倒引当金()	782
(4) 貯蔵品	17,404
3 繰延資産	-
負債合計	7,121,678
1 固定負債	5,320,858
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,320,858
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,319,826
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	471,679
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	121,746
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	350,000
(8) 未払金及び未払費用	361,948
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	480,994
(1) 長期前受金	615,565
(2) 長期前受金収益化累計額()	134,571
資本合計	-1,006,471
1 資本金	4,318,461
2 剰余金	-5,324,932
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-5,324,932
負債・資本合計	6,115,207
不良債務	284,845
実質資金不足額	284,845
資金不足額()	1,006,471
資本不足額(繰延収益控除後)()	525,477
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	412,485	418,725
資本勘定繰入	322,427	326,427
計	734,912	745,152

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	284,845	9.6
令和元年度	207,396	6.7
平成30年度	88,799	2.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	179.1
健全化法上の資金不足額(千円)	284,845
健全化法上の資金不足比率(%)	9.5
地財法上の資金不足額(千円)	284,845
地財法上の資金不足比率(%)	9.5

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	上市町				
病院名	かみいち総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	16,312 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	148	69.8	74.7	74.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	51	57.1	62.5	68.5
感染症	-	-	-	-
計	199	66.5	71.5	73.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	16.1	21.8

設立団体の状況		
人口(人)	19,351	
決算規模(千円)	12,535,115	
標準財政規模(千円)	6,410,285	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	89.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.3
	将来負担比率(%)	93.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.5
修正医業収益(千円)	3,067,112

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,037,875			
1 経常収益	3,968,732			
(1) 医業収益	3,173,130			
入院収益	1,781,244			
外来収益	1,133,842			
診療収入計	2,915,086			
その他医業収益	258,044			
(うち他会計負担金)	106,018			
(2) 医業外収益	795,602			
(うち国・都道府県補助金)	249,137			
(うち他会計補助・負担金)	469,009			
(うち長期前受金戻入)	46,023			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	69,143			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,926,450			
2 経常費用	3,857,305			
(1) 医業費用	3,673,864			
職員給与費	2,085,659	65.7	62.1	67.4
材料費	466,050	14.7	25.3	17.7
(うち薬品費)	273,372	8.6	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	192,678	6.1	11.4	8.8
減価償却費	388,465	12.2	9.5	10.7
経費	725,244	22.9	22.7	29.2
(うち委託料)	417,343	13.2	12.6	13.9
研究研修費	7,933			
資産減耗費	513			
(2) 医業外費用	183,441			
(うち支払利息)	44,651	1.4	1.3	1.5
(3) 特別損失	69,145			
損益				
経常損益	111,427			
純損益	111,425			
累積欠損金	3,039,985			
経常収支比率	102.9		101.9	100.3
医業収支比率	86.4		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	14.5		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	18.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	14.2		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	88.0		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,587,556
1 固定資産	3,632,272
(1) 有形固定資産	3,540,770
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	91,502
2 流動資産	955,284
(1) 現金及び預金	418,778
(2) 未収金及び未収収益	530,008
(3) 貸倒引当金()	2,100
(4) 貯蔵品	8,549
3 繰延資産	-
負債合計	3,553,733
1 固定負債	2,452,589
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,452,589
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	704,882
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	307,842
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	142,471
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	237,956
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	396,262
(1) 長期前受金	1,133,874
(2) 長期前受金収益化累計額()	737,612
資本合計	1,033,823
1 資本金	4,026,096
2 剰余金	-2,992,273
(1) 資本金剰余金	47,712
(2) 利益剰余金	-3,039,985
負債・資本合計	4,587,556
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	573,844	575,027
資本勘定繰入	149,665	149,665
計	723,509	724,692

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	95.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	朝日町				
病院名	あさひ総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	17,503 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	15	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	109	82.6	92.0	77.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	109	82.6	92.0	76.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	13.1	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	11,081	
決算規模(千円)	10,112,189	
標準財政規模(千円)	5,109,990	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.6
修正医業収益(千円)	2,437,853

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,882,465			
1 経常収益	2,812,273			
(1) 医業収益	2,496,731			
入院収益	1,393,514			
外来収益	932,529			
診療収入計	2,326,043			
その他医業収益	170,688			
(うち他会計負担金)	58,878			
(2) 医業外収益	315,542			
(うち国・都道府県補助金)	122,834			
(うち他会計補助・負担金)	154,420			
(うち長期前受金戻入)	8,947			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	70,192			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,282,705			
2 経常費用	3,227,944			
(1) 医業費用	3,025,257			
職員給与費	1,400,054	56.1	62.1	67.4
材料費	439,516	17.6	25.3	17.7
(うち薬品費)	256,955	10.3	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	151,506	6.1	11.4	8.8
減価償却費	306,014	12.3	9.5	10.7
経費	858,845	34.4	22.7	29.2
(うち委託料)	390,893	15.7	12.6	13.9
研究研修費	9,689			
資産減耗費	11,139			
(2) 医業外費用	202,687			
(うち支払利息)	79,373	3.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	54,761			
損益				
経常損益	-415,671			
純損益	-400,240			
累積欠損金	414,240			
経常収支比率	87.1		101.9	100.3
医業収支比率	82.5		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	7.6		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.5		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	7.4		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	80.5		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,333,527
1 固定資産	5,641,889
(1) 有形固定資産	5,580,096
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	61,793
2 流動資産	691,638
(1) 現金及び預金	276,471
(2) 未収金及び未収収益	339,106
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	74,160
3 繰延資産	-
負債合計	5,318,830
1 固定負債	4,184,920
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,119,735
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	65,185
(7) リース債務	-
2 流動負債	905,883
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	420,670
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	87,984
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	396,102
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	228,027
(1) 長期前受金	355,973
(2) 長期前受金収益化累計額()	127,946
資本合計	1,014,697
1 資本金	1,341,685
2 剰余金	-326,988
(1) 資本金剰余金	73,252
(2) 利益剰余金	-400,240
負債・資本合計	6,333,527
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	242,375	213,298
資本勘定繰入	240,539	275,499
計	482,914	488,797

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。